

# 初心者のための「英語エッセー&スピーチの書き方」 <保存版>

英語の授業では英語のエッセーやスピーチを書く機会がたくさんあります。読み手や聞き手を意識した英語エッセー&スピーチのポイントをチェックして上手な書き方をマスターしましょう。

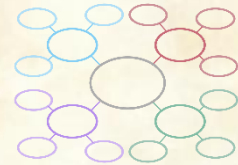


## 1. 文章全体の構成を意識する

英語のスピーチやエッセーの構成については「3部構成」がおすすめです。短い文章も長い文章も、この3部構成で書くことができます。

**「3部構成」の3つのパート = ①Opening(序論) ②Body(本論) ③Closing(結論)**

アイデアを整理するときにはマインドマップが便利です。自分が書きたいテーマに関連のあるテーマをマッピングしながらたくさん書き出し、扱うトピックを取捨選択して整理します。



## 2. Opening・Body・Closing のそれぞれで何を伝えるか

### <Opening>(序論)

Opening は、本題に入る前の「つかみ」にあたります。自己紹介、今日の話題、どんなことを語るのか、また何のために語るのかといったことを述べます。あいさつが必要であれば、“Hello, everyone.”で十分です。もし“Thank you for giving me this chance.”と続けられれば文句なしです。

表情も大事な要素になります。スピーチであれば、笑顔で始めましょう。

Opening は相手の注意や関心を引くための大事な部分です。特に、冒頭部分を工夫することで、相手の興味を引き出したところでは、何か相手が驚くような数字や事実を提示したり、疑問を投げかける形でスタートする手法などがよく使われます。

**Point①** 「語るテーマ」と「結論」を示す

**Point②** 聞き手の興味を引くための工夫をほどこす

### <Body>(本論)

結論を支える理由や根拠を具体的に示します。

読み手が話の流れをつかみやすいように、First(最初に), Second(二番目に), Finally(最後に)といった言葉をうまく使きましょう。

**Point①** 流れを意識する

**Point②** 結論に対する理由・根拠を示す



### <Closing>(結論)

In short, ~.(つまり、~です。)と簡潔に全体をふり返ります。そして、結論を再度示す。最後は、Thank you for listening.

**Point①** 全体をふり返り、明確な結論を示す

**Point②** 聞き手に対する感謝の気持ちを示す

## 3. 完成した作品を推敲してより良い作品に仕上げる

エッセー(スピーチ)が完成したら、**テーマにそったスピーチになっているか**(関係のない話が含まれていないか)、**聞き手にとってわかりにくい部分がないか**、**文法や単語のスペリングにミスがないか**を再度チェックしましょう。友だちとお互いにチェックし合うのもいい方法です。

推敲にもコツがあります。**少し時間をおいて読んでみる、黙読でなく声に出して読んでみる、友だちに読んでもらう**、などとすると新しい気づきが出てくることもあります。推敲で、作品に磨きをかけましょう。

### よく使われる便利な表現

#### Opening (序論)

Let me introduce myself. **自己紹介します。**

I will (am going to) tell you about ~.

Today, I'd like to tell you about ~.

My speech today is about ~.

**今日は~について話したいと思います。**

#### Body (本論)

First, let's look at ~.

**まず~について見てみましょう。**

I'd like to give you 3 reasons for this.

**これに対する3つの理由を述べます。**

You can find(see) that ~.

**あなたは~ということに気づくでしょう。**

However, ~. **しかしながら~です。**

In addition ~. **それに加えて~です。**

#### Closing (結論)

In conclusion, ~. / To conclude, ~.

**結論としては、~です。**

Thank you for listening.

Thank you so much for your attention.

**ご清聴いただき、ありがとうございました。**